

# きらら通信

2025年9月号

第257

## NPOきらら 社会福祉法人 きらら デイサービス・ケアプラン 看護小規模多機能ホーム 街かどデイハウス グループホーム



発行日 2025年9月1日

発行人 松永美保子

お問い合わせ先

072-688-0842(原大橋)

072-648-3415(摂津峡)

### 研修のご報告

高槻市長寿介護課主催の「高槻ますます元気体操」従事者研修を受講しました。高槻市の委託事業である街かどデイハウスでは毎年この研修を受講します。研修では体操の意義、意味を再確認し新たな知識も得られました。今後も地域の皆様の介護予防のお手伝いができるようスタッフ一丸となって頑張ります。宜しくお願ひいたします。

街かどデイハウス

**制作レクリエーション 「工夫…一心に修行に励むこと」** きららのデイサービスではお散歩や体操、日常の生活動作などで身体を動かすことを大切に思っています。無理のないようにご自身のペースで心と身体を保てるように。制作レクも楽しい時間です。今月はひまわりを折りました。細かい箇所も多く、きれいに折るために丁寧に工夫しながら取り組んでおられました。早くできた方が「自信ないけどこんなやったと思う」とお手伝い。「ありがとう、うれしい」と

お礼の言葉。素敵な時間でした。 **デイサービス 横山**

**その方らしく…。** 入退院を繰り返されている利用者様がおられ、御家族・御本人から「人生の最終を御自宅・きららで過ごしたい」との御意向を受けました。スタッフと話し合い、人生の最期まで尊厳ある生活を支援しようと決め、旅立たれる7/15まで皆が1つになり援助をしました。御家族から「幸せに過ごせた」と感謝の想いを頂きました。御冥福をお祈り致します。

**看護小規模多機能ホームきらら摂津峡 松江**

地域交流の一環として、グループホームの利用者様と一緒に原の盆踊りに参加しました。浴衣に身を包み、賑やかな音楽に合わせて、踊りを楽しみました。日頃の散歩で顔馴染みの方々との笑顔溢れるひと時に、地域との繋がりの大切さを改めて感じ、更に繋がりを深める貴重な機会となりました。

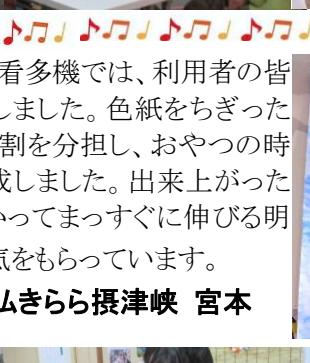
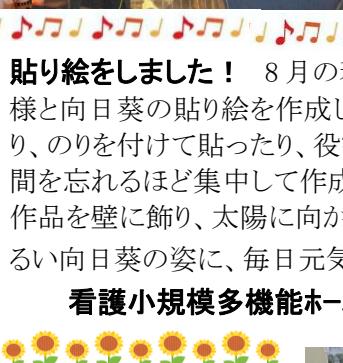
**グループホームきららの家 小野井**



入居者の皆様と原の盆踊りに参加しました。会場の原公民館には大勢の人々や高槻音頭の大音響。その賑わいに驚きつつ、模擬店でポテトやかき氷などを各自で注文され、子供たちの盆踊りを見ながらペロリと完食されました。猛暑で散歩もままならなかったこの夏、絶好の気分転換と地域交流の機会になりました。ホームに帰ってからもうれしいお話しで盛り上りました。地域の皆様、ありがとうございました。 **グループホームきらら摂津峡 渡部**



**ミュージックボランティアさん** 今回は音楽関係できららにお力添えをいたでいるボランティアの皆様を紹介します。原大橋の皆さんが楽しみにされている歌声喫茶の布施さん、三好さん。ギター演奏とトークが人気です。カラオケ教室の西川先生は毎回利用者様から元気な歌声を引き出して下さいます。民謡、三味線の岡田さん、渡辺さん、原の地元の皆様方からは心がウキウキする音を聞かせていただいています。演奏会ではヘルマンハープ・二胡演奏のアンサンブルメルヘンさんが涼しげな風の様に音色を運んで下さいました。七夕お琴コンサートでは和の響きでお誕生日祝いも演奏して下さった森本さん、東村さん。フラメンコギターの井上さんの演奏は情熱の響きが、まるでスペインに居るかのようでした。これまでにも沢山の方々に演奏や歌を聞かせていただき、利用者様は大いに歌い、身体を使って音楽を楽しんでおられました。携わって下さっている皆様に心から感謝しております。今後とも宜しくお願い致します。 **街かどデイハウス 池田**



**貼り絵をしました！** 8月の看多機では、利用者の皆様と向日葵の貼り絵を作成しました。色紙をちぎったり、のりを付けて貼ったり、役割を分担し、おやつの時間を忘れるほど集中して作成しました。出来上がった作品を壁に飾り、太陽に向かってまっすぐに伸びる明るい向日葵の姿に、毎日元気をもらっています。

**看護小規模多機能ホームきらら摂津峡 宮本**

